

関西、外国人へ観光PR

安芸、室戸、阿南市の協議会

【安芸】安芸市、室戸市、徳島県阿南市でつくる「AMMA（あ

ま）地域連携推進協議会」（会長・岩浅嘉仁阿南市長）の本年度総会が2日、安芸市矢ノ丸1丁目のホテルタマイで開かれ、外国人や関西方面の観光客の集客に力を入れる2015年度の事業計画などを決めた。

総会では、甲子園球場で実施した四国東南部のPRビデオ放映など14年度の事業などを報告。15年度の事業として、地域活性化に向けたシンポジウムの開催▽外国人観光客の集客へパンフレットの多

言語化▽大阪府や京都府でのPRイベント開催などを承認した。

また、全国の観光地域から「恋人の聖地」を選定している静岡市のNPO法人「地域活性化支援センター」の志垣恭平理事長が講演。地域の活性化などに向けた先進地の事例を紹介しながら、メディアを通じた情報発信や市町村の広域連携の重要性を強調した。

岩浅会長は「四国東南部地域が一体感を醸し出し、特色を出し合っって誘客を目指していく」と話していた。

（飯野浩和）